

# 「社員楽しむこと大切」

## 「健康経営」事業所代表ら

**健康長寿**  
福島の挑戦

「健康経営」を進める県内3事業所の代表は、表彰式後の会談で従業員の健康維持・増進に関する事例を紹介し、取り組みを続けるために「社員が楽しんで健康づくりをすることが大切」などと語った。



「健康経営」について  
会談する出席者

健康経営は「トップの強い決意が大切」と強調したのは南双サニスの西山和幸社長。従業員にウォーキングや人間ドック受診を推奨しており、「トップが自ら運動の動機付けなどに取り組んでいると語った。社員の健康維持について「続けることが重要。従業員が健康課題を自ら見つけ、主体的に行動するようしたい」と述べた。

### 「おむすび弁当」完成報告

喜多方、大熊の児童ら、知事に

喜多方市の堂島小と大熊町の大野、熊町両小の児童ら24日、県庁に内堀雅雄知事を訪ね、開発した「コロコロんめおむすび弁当」の完成を報告した。堂島小は起業家学習の一環で、熊町小は児童らによるボランティア活動の一環として、それぞれ「おむすび弁当」を開発した。このおむすび弁当は、大熊町小の児童らが発案し、堂島小の児童らが開発した。知事からは、被災地支援の観点から、おむすび弁当の普及を促すことと、被災地の復興支援に貢献することを期待する旨の発言があった。

# 大熊「学び舎ゆめの森」

## 「図書ひろば」「囲む設計」

### 子どもと住民、空間共有

大熊町大川原地区への2023年4月に開校する町立の新しい教育施設「学び舎 ゆめの森」の設備計画が24日、正式決定した。認定こども園と義務教育学校が一体となった施設で、ウエディングケーキのような外觀が特徴。内部をみると、中央の図書（「学び舎」）を囲うように教室や体育館などが放射状に配置されており、0～15歳の子どもたちが同じ空間で交流を深め、好奇心を刺激合うような多様な学びの場となるよう設計される。



24日の町議会臨時会で施設の工事請負契約に関する議案が可決された。鉄骨2

**壁可動式、多様な場提供**



大熊町大川原地区への2023年4月に開校する町立の新しい教育施設「学び舎 ゆめの森」の設備計画が24日、正式決定した。認定こども園と義務教育学校が一体となった施設で、ウエディングケーキのような外觀が特徴。内部をみると、中央の図書（「学び舎」）を囲うように教室や体育館などが放射状に配置されており、0～15歳の子どもたちが同じ空間で交流を深め、好奇心を刺激合うような多様な学びの場となるよう設計される。



弁当完成を報告した(左から)渡部君、花見さん(右から)馬場さん、池田さん

町産のイチゴを使った焼きシヨクラも開発した。訪問したのは、いよいよ6年で、堂島小の花見優来さん、渡部峻君、大野小の池田玲奈さん、熊町小の馬場結梨花さん、花見さんは震災を風化させないよう一緒に頑張った、池田さんは「弁当を食べた免疫力を高め、コロナに打ち勝つてほしい」と願いを込めた。水産販路の拡大支援知事に活動状況報告 福島相次復興推進機構(官民合同チーム)は24日、東京電力福島第一原発で発生する処理水の海洋放出方針決定に伴い新設した「水産販路等支援プロジェクトチーム」の支援により、5事業所が東北、関東、関西の量販店など6社に販路を開拓したと明らかにした。官民合同チームの北村清(北村チーム)は、活動状況を報告した。

### 100%取得へ育休サイト

男性県職員向け制度紹介 県は24日、男性職員の育児休業取得率100%に向けて、職員向けの育休情報ポータルサイト「男の育休ネット」を開発した。写真、取得モデルなどを掲載し、取得率の向上につなげる。サイトは「つなげる」を

職をつなげる」として、内堀雅雄知事の思いなども掲載している。県庁で同日開かれたイクボス面談で開発を発表した内堀知事は「子育てへの理解を深め、男性の育休取得率100%が当たり前になることを目指す」と話した。

協定により、東北支店の従業員は業務全般を通じて地域の見守り活動に協力する。配送などで個人宅を訪れる際は、おみやげやお土産を持参し、地域とつながる。協定は、2023年10月1日開始を予定している。協定により、東北支店の従業員は業務全般を通じて地域の見守り活動に協力する。配送などで個人宅を訪れる際は、おみやげやお土産を持参し、地域とつながる。協定は、2023年10月1日開始を予定している。協定により、東北支店の従業員は業務全般を通じて地域の見守り活動に協力する。配送などで個人宅を訪れる際は、おみやげやお土産を持参し、地域とつながる。協定は、2023年10月1日開始を予定している。

東日本大震災義援金 24日 WLAの花(福島市)が15万円、今年度の相違金から寄付された。福島県民新聞社に委託し、佐藤孝子代表は「震災の風化が進んでおり、いまだ復興していない地域もある。被災地を忘れてはいけない」と語り、写真見聞録を制作する。協定により、東北支店の従業員は業務全般を通じて地域の見守り活動に協力する。配送などで個人宅を訪れる際は、おみやげやお土産を持参し、地域とつながる。協定は、2023年10月1日開始を予定している。

「鉄印帳」って? 鉄道版の御朱印帳です。トノミーウォー開催! トノミーウォー開催は、幕末並みや、山々の美しさを伝えます。見ると施設が目に飛び込んできます。

「鉄印帳」って? 鉄道版の御朱印帳です。トノミーウォー開催! トノミーウォー開催は、幕末並みや、山々の美しさを伝えます。見ると施設が目に飛び込んできます。

全員無事ゴールできました! 最後の難関、芦ノ牧温泉駅からの60分を歩き切り、ついに最終目的地の芦ノ牧温泉かがやき公園に到着。前半からの疲労と、たくさん買ったおみやげの重さで、「10分で投げそうに」なりました。

料理人が丹精こめて作り上げた、会津の伝統料理・郷土料理を堪能。そして、会津の市街を一望する展望露天風呂で、歩いた疲れをしっかりと癒しました。がんばった後のごほうびは最高でした。